

温 泉 分 析 書

No. 温-1403047

1 申請者

住所：奈良県吉野郡十津川村大字小原225-1
氏名：十津川村長 更谷慈禧

2 源泉名及び湧出地

源泉名：湯泉地温泉1号・2号混合源泉
湧出地：奈良県吉野郡十津川村大字武蔵712番地および708番地の3

3 湧出地における調査及び試験成績

- (イ) 調査者名：有限会社 奈良環境調和研究所 井上俊之
- (ロ) 試験者名：有限会社 奈良環境調和研究所 井上俊之
- (ハ) 調査年月日：平成26年2月27日
- (ニ) 試験年月日：平成26年2月27日
- (ホ) 泉温：52.7℃ (調査時気温13.0℃)
- (ヘ) 湧出量：634ℓ/分
- (ト) 知覚的試験：無色透明 微硫黄臭あり
- (チ) pH値：8.9
- (リ) ラドン含有量：-

4 試験室における試験成績

- (イ) 試験者名：有限会社 奈良環境調和研究所 井上俊之
- (ロ) 分析終了年月日：平成26年3月14日
- (ハ) 知覚的試験：無色透明 微硫黄臭あり
- (ニ) 密度：0.9994
- (ホ) pH値：8.9
- (ヘ) 蒸発残留物：0.248 g / k g

5 試料1k g中の成分、分量及び組成

	陽イオン			陰イオン				
	成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)	成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)
溶 存 成 分	ナトリウムイオン (Na ⁺)	64.0	2.78	96.07	フッ素イオン (F ⁻)	5.9	0.31	9.62
	カリウムイオン (K ⁺)	1.1	0.03	0.97	塩素イオン (Cl ⁻)	5.9	0.17	5.15
	マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	不検出	0.00	0.00	臭素イオン (Br ⁻)	不検出	0.00	0.00
	カルシウムイオン (Ca ²⁺)	1.6	0.08	2.76	ヨウ素イオン (I ⁻)	不検出	0.00	0.00
	鉄(II)イオン (Fe ²⁺)	不検出	0.00	0.00	硫化水素イオン (HS ⁻)	5.0	0.15	4.68
	マンガン(II)イオン (Mn ²⁺)	不検出	0.00	0.00	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	5.9	0.12	3.80
	リチウムイオン (Li ⁺)	不検出	0.00	0.00	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	102.0	1.67	51.78
	ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	不検出	0.00	0.00	炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	24.0	0.80	24.77
	バリウムイオン (Ba ²⁺)	0.1	0.00	0.05	チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	不検出	0.00	0.00
	アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	不検出	0.00	0.00	リン酸イオン (PO ₄ ³⁻)	不検出	0.00	0.00
	アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.04	0.00	0.15	硝酸イオン (NO ₃ ⁻)	0.3	0.00	0.15
					亜硝酸イオン (NO ₂ ⁻)	0.06	0.00	0.04
	陽イオン計	66.84	2.90	100.00	陰イオン計	149.86	3.23	100.00
遊 離 成 分	非解離成分			溶存ガス成分				
	成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)		
	メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	20.0	0.26	遊離二酸化炭素 (CO ₂)	0.2	0.00		
	メタホウ酸 (HBO ₂)	0.0	0	遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.0	0.00		
	非解離成分計	20.0	0.26	溶存ガス成分計	0.2	0		
他 の 成 分	成分	含有量 (mg)		成分	含有量 (mg)			
	総ヒ素 (As)	不検出		カドミウムイオン (Cd ²⁺)	不検出			
	亜鉛イオン (Zn ²⁺)	不検出		銅イオン (Cu ²⁺)	不検出			
	鉛イオン (Pb ²⁺)	不検出						
	総水銀 (Hg)	不検出						
	溶存物質計 (ガス成分を除く)	0.236	(g)	成分総計	0.236	(g)		

6 泉質：単純硫黄泉

7 禁忌症、適応症及び入浴・飲用上の注意事項は別表に記載する。

発行年月日 平成26年3月15日

奈良県桜井市粟殿1007-6
有限会社 奈良環境調和研究所 (温泉成分分析施設登録番号 奈良県20温第1号)

代表取締役 井上俊之



温泉分析書別表

- 1 源泉名 湯泉地温泉1・2号混合源泉
- 2 源泉所在地 奈良県吉野郡十津川村大字武蔵712番地
- 3 温泉分析申請者 奈良県吉野郡十津川村大字小原225-1
十津川村長 更谷慈禧
- 4 泉質名 単純硫黄温泉
泉質分類 アルカリ性低張性高温泉

5 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである

*療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症を温泉の成分のみによって確定することは困難であるが、おおむね次のとおりである。

浴用の禁忌症

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

飲用の禁忌症

腎臓病、高血圧症、その他一般にむくみのあるもの

浴用の適応症

療養泉の一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症(硫黄泉)

アトピー性皮膚炎、尋常性疥癬、慢性湿疹、表皮化膿症、抹消循環障害

浴用上の注意事項

- ア 温泉療養を始める場合は最初の数日の入浴回数を1日あたり1回程度とすること。その後は1日あたり2回ないし3回程度とすること。
- イ 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- ウ 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわりの湯場反応)が現れることがある。「湯あたり」の間は入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。

- (ア) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度として、慣れるにしたがって延長してもよい。
- (イ) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る
- (ウ) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)。
- (エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
- (オ) 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。
- イ. 高度の動脈硬化症
- ロ. 高血圧症
- ハ. 心臓病
- (カ) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
- (キ) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
- (ク) 飲酒をしての入浴は特に注意する。

一般的な飲用上の注意事項

- ア 飲泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。
- イ 温泉飲用の一回の量は一般に100mlないし200ml程度とし、その一日の量はおおむね200mlないし1000mlまでとすること。
- ウ 一般に飲泉は食前30分～1時間前がよく、夕食後から就寝前はなるべく避けましょう。

